

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒514-0823

三重県津市半田 1330

E-mail sjexchange@sjjg.ac.jp

Website http://sjjg.ac.jp/

幼児児童生徒数 男子 0 名 女子 487 名 合計 487 名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「愛と奉仕の精神」を建学の精神として、ESD を生徒による他者を幸せにする活動と捉え、ESD の実践を通して自立した女性として社会へ貢献する力の育成を目標とした。

具体的には、奉仕活動、募金活動、環境活動を柱に、①奉仕活動に係わる活動、②ウォーカーソン (募金活動)、③環境美化に係わる活動・学習を行った。

① 奉仕活動に係わる活動

中学校 2 年生から高校 2 年生の生徒は、学年の特別活動として、年 3 回程度近隣の社会福祉施設に訪問して利用者と交流する機会が設けられている。活動の内容やスケジュール管理は生徒が自ら計画し、自主的にリハーサルを行う。施設との渉外は、学年担当で関わっているが、当日は生徒が前に出て施設担当者との関わりを持っている。

また、高校 2 年生では、夏休みを利用して東日本大震災で被災した岩手県釜石市で防災教育と震災ボランティアを体験する機会を設けている。

② ウォーカソン（募金活動）

ウォーカソンは「ウォーク」と「マラソン」をかけた言葉である。当校ではこの活動を全校的な募金活動に据えおり、毎年多大な募金を集めている。その募金はシエラネオネや東日本大震災に被災した地域、フィリピンの教育の行き届かない地域に送り届けている。

生徒だけでなく、教員・保護者・民間企業で支援していただける方が参加しており、10 km を歩くことによって、事前に承認をもらったスポンサーから募金をいただく仕組みである。

③ 環境美化に係わる活動・学習

5月に「花いっぱい運動」として、自治会と協力して近隣公園の花植を行い環境美化に努めている。また、11月には校内の花植えを行い、2月には校内周辺の清掃活動をロータリークラブと協力して行っている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校全体の建学の精神「愛と奉仕の精神」を基盤に、全校で共有することによって奉仕活動等のボランティア活動や地域との交流を行っている。当校の活動の精神はそのままユネスコスクールとしての活動の精神と重なるものがあるため、当校の活動がそのままユネスコスクールの活動としての位置を占めている。

それぞれの活動ごとの指導については、特別活動を中心として、日々の学校生活に建学の精神を実践していく指導を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

当校には、中学1年生から高校3年生までを統括する生徒主体の学園会が組織されている。この組織は学校行事に深く関わり、学校全体で行う募金活動「ウォーカーソン」や毎月の集会の運営、各学校行事に深く関わる役割を負い、他の生徒の学園生活の環境を、年間を通して整えている。

民間企業等のセッション等は学校が繋ぎ、学園会が主体となって、地域社会に関わっており、学園と学園会が歩調を合わせて学校行事を作り上げる組織体制をつくっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

生徒一人一人が有志のボランティアを行っているため、それぞれの生徒によって活動の内容が異なる。そのため、各活動について、年間を通して生徒の自己評価を行い、特別活動・総合的な学習の評価としている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

毎年、三重大学が主催するユネスコスクール研修会に参加している。当校が実践している各種奉仕活動やボランティアの活動について報告し、他校との交流を行っている。
また、今年度は全国の高校生が応募するボランティアアワードにも参加し、銅賞(国境なき医師団賞)を受賞した。さらに、民間ユネスコ団体が主催する、東海地区の中部・西ブロックユネスコ研究会においても本校の活動報告を行った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

三重大学主催の「三重ESDコンソーシアム 三重大学ユネスコスクール研修会」において、当校のユネスコスクールとしての活動を報告した。また、民間ユネスコ団体の活動研究会に参加することによって、当校の活動を広く広めると同時に、社会人が行っている民間ユネスコ活動について共有することができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールではないが、当校の姉妹校が全世界に点在している。フィリピンとアメリカの姉妹校は、当校と同じ設立母体となっており、現在でも生徒の交流が行われている。特に、フィリピンの姉妹校へは毎年生徒間の行き来を行っており、当校から毎年訪問する生徒は、募金活動によって得られた支援金を直接フィリピンの貧困地域に寄付する活動を行っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

毎月の集会において、生徒が実践している活動を報告する機会が得られている。発表する生徒は、発表したい旨を自主的に教職員に伝え、プレゼンテーションの内容やスライドも独自に作成して発表する環境がある。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

6月 緑化活動（環境美化活動）
周辺自治会住民と共に、近隣公園の花植えを行う。

8月 フィリピン研修
フィリピンの姉妹校訪問を行い、各種奉仕活動を行う。

10月 ウォーカーソン
学園会による、全校生徒による募金活動を行う。

12月 NHK 歳末たすけあい募金
周辺の駅や百貨店へ街頭募金活動を行う。

2月 心ぽかぽか大作戦
ロータリークラブと共同で学校周辺の清掃活動を行う。

3月 釜ヶ先ボランティア
大阪市西成区の釜ヶ先地区（あいりん地区）へ滞在し、炊き出し支援や夜回り活動を行う。

通年 ゴミ分別とリサイクル活動
ペットボトルキャップを回収し、回収団体へ送付し、就労支援活動を行う。